

第39回 茨城建築文化賞

県建築士事務所協会

[県議会議長賞]

こどもの運動発達のための保育園ふぁみりは学園

- 株式会社ツバメアーキテクト
住所/東京都世田谷区代田 2-36-19
- 施工者/柴木材店
住所/茨城県下妻市高道祖4316
- 建物所在地/茨城県つくば市水堀484-1

- 建築面積/467.18㎡ ●延床面積/412.39㎡
- 構造/W造



るため、事業者との対話を重ねる中で「障害に合わせて空間を規定する」のではなく、「多様な空間の中から主体的に環境を選択できること」を設計の軸とした。周囲の田園風景や既存診療所に馴染むスケールとするため、平屋二棟を雁行配置し、分節されたボリュームを軒先で緩やかにつなぐ構成としている。天井高や構造形式の異なる二つの内部空間に、大小二つの庭、軒下やデッキによる半外部の中間領域を重ね合わせ、感情や身体特性に応じて選択できる多様な居場所を設けた。裏側に計画されやすい調理室はあえて玄関脇に配置をし、食育や地域との関係性の醸成にも寄与している。周辺の雑木林を借景として取り込み、敷地を超えて回遊性を内包する、のびやかな保育の場を目指した。

【設計主旨】
診療所に隣接する、同一事業者によるインクルーシブ保育を目指す保育園(小規模保育十事業発達支援)である。心身の障害の有無に関わらず、すべての子どもが共に過ごす保育を実現す

ちらんつくば園

- 株式会社ヤマト建築設計事務所
住所/水戸市千波町1370-4

- 施工者/水戸土建工業株式会社
住所/水戸市袴塚3丁目10-41
- 建物所在地/茨城県つくば市東岡字海道端247-1、248、249、250、251-1
- 建築面積/1058.59㎡ ●延床面積/763.84㎡ ●構造/S造



【設計主旨】
テーマは園児も保護者も先生も楽しい保育園です。大きな屋根の車寄せは、雨天の送迎も円滑に行うことができます。奥行き4.5メートルの大庇を持つテラスは、登園時の雨除け、夏の日差し抑制に大きな役割を持っています。屋根の一部でもある大庇からの雨水は軒端から壁樋を持たず直接地上へ吐水させて、

雨の日でも楽しむことのできる仕掛けを作りました。地上の雨受け部分は丸太ベンチで囲み、晴れの日には園児たちの井戸端会議の場として提供します。また、大庇先端に水道管を持っていき、そこからプールへの吐水も行い、変化に富んだプール遊びができる仕掛けを持っています。絵本コーナーには、子供たちの隠れ家である「でん」を設け、本棚の一部は保育室につながるトンネルになっています。内部のメイン導線となる廊下は、船底天井とペンダント型照明との組み合わせにより視線を上に向けて開放的な空間としています。住宅地に隣接するこの園舎は平屋建て、且つ、緩勾配屋根として隣接地への影響も最小限に収めています。

つくばみらい市の住宅

- 建築面積/150.81㎡ ●延床面積/130.22㎡ ●構造/W造

- 株式会社濱田慎太建築事務所
住所/神奈川県横浜市神奈川区反町2丁目16-5
- 施工者/有限会社岡村建築
住所/群馬県太田市沖之郷町498番地の2
- 建物所在地/茨城県つくばみらい市南太田500番地1



【設計主旨】
敷地は建主が長年育ててきた樹木や、隣接する神社の深い緑に抱かれた長閑な田園風景の中にある。建主は長年この地で職住一体の助産院を営み、自然と地続きの暮らしを愛してきて、本

計画ではこの土地の豊かな環境を守りながら、建主の暮らしが風景をより魅力的に醸造していくような家のあり方を目指した。既存の樹木を最大限残したコンパクトな建物は、単純明快な動線と回遊性をもたせ、室内からはどこにいても周囲の豊かな自然を感じる事ができる。四方に設けた開口部からは周囲の木々を抜けた心地よい風が室内をめぐる、家全体が呼吸するように周囲の自然を五感で味わう事ができる。建物外周には奥行き1間ののびやかな下屋を纏わせ、外壁や下屋の軒先には隣接する神社の針葉樹群に呼応するように針葉樹の仕上げを施した。建物の大部分を占める下屋は日射遮蔽や季節風を緩和させるだけでなく、その下に広がる半外部空間のテラスが北側は地域住民との交流を育む縁側、南側は家族が四季を味わう場に、西側はエノキの大木の木陰で収穫物を調理し食事を楽しむ場へと日々姿を変え、敷地内だけに留まらず周囲への賑わい創出と夜には暮らしの灯りという安心感を与える。豊かな自然の中で、建主の暮らしが田畑を耕すように生き生きと展開し、この土地がさらに活気に溢れていくことを期待している。



霞ヶ浦どうぶつとみんなのいえ

- 高橋一平建築事務所
住所/神奈川県横浜市西区高島2-5-5、7F
- 施工者/オカベ
住所/茨城県日立市多賀町2-10-7
- 建物所在地/茨城県行方市玉造甲1234
- 建築面積/4,025㎡
- 延床面積/4,968㎡
- 構造/RC、一部S造



【設計主旨】
霞ヶ浦湖畔に建つ廃虚化した旧科学館を再編し、人が動物や自然と交流する場所に変えた。いまや地球は人工物で溢

れた。近代はその理知的な所作により人と自然をかえって遠ざけたが、ここでは限りなく近づけようとした。かつて人が築いた世界(旧施設)を解体し光や風、雨や緑を進ませ自然へ還元していく。動物たちも乗り込み、自然が主体となる環境を構築しようとした。そこへ人が集まって動物とふれあうことを通じ、人も自然の一部に過ぎない事実を即物的に感じさせようとした。そのため新築や解体、改修、増築、セルフビルドなどあらゆる建築行為が交わり合う。このことは今後も続く人間中心主義による「空間」という概念の解体ことも意味している。自然とは人が統制を企てる世界の外部に存在することを改めて示すべく、旧施設の外部側から絡みつく歩路を進むと、建築物や霞ヶ浦、空や大地が一つになり、これまでの両者の関係が交わり合い、時おり反転する。

桜川消防署庁舎

- 株式会社andHAND建築設計事務所
住所/茨城県つくば市東新井29番地13



【設計主旨】
筑波の山々に通じるシンボリックな屋根と、地域社会に開かれた透明性を備えた消防署です。市民が身近に感じることができるよう消防署と街とが重なり溶け込む境界づくりと、軽やかなリズムで織りなす屋根が、地域のランドマークとなります。内部空間は、消防隊員の仮眠室

- 施工者/株木・常陸特定建設工事共同企業体
住所/茨城県筑西市蓮田350-4
- 建物所在地/茨城県桜川市市線田604番地1
- 建築面積/3329.4㎡
- 延床面積/3329.4㎡
- 構造/PCPa造一部S造・壁式RC造



におけるプライベート空間を保ちながらも、そこでコミュニケーションが生まれ、職員の日常や市民が訪れた際には、ガラス越しに活動の様子や消防車両を見る、見られる関係性のある空間を実現しています。計画敷地は旧総合病院の跡地で、新設杭と残置杭が干渉しないよう建物配置の微調整を行い、また消防隊員たちの訓練を日常的に目にすることも意識した建物の配置としています。建物強度、工期短縮、大スパンの実現のため、PCPaC構造(一部鉄骨造)により機能性や、可変性を持った空間を構成しています。資産価値と安全性、消防署として長寿命化による経済的負担の軽減と環境配慮を見越したデザインとしています。

つくばの平屋

- 株式会社サンハウス



街にひらかれたコートハウス

- 有限会社宮本建築アトリエ



茨西市認定こども園せきじょう整備事業

- 株式会社若柳建築事務所



みどりの会所 アスロメディカル新社屋

- 株式会社TOAST



笠間工芸の丘 カフェ

- 大山都市建築設計



フロイデケアタウンひたちなか

- 株式会社五井建築研究所



鹿島神宮礼賓館

- 合同会社かたちづくり研究所



第39回

茨城建築文化賞の

受賞を心より

お祝い申し上げます

茨城県建築士事務所協会

- | | |
|------------|-------------|
| 会長 河野 正博 | 常務理事 軽部 守彦 |
| 副会長 小川 憲一 | 常務理事 宮本 久 |
| 副会長 根本 洋一朗 | 常務理事 和田 淳一 |
| 副会長 大山 早嗣 | 常務理事 上久保 博隆 |
| 統括理事 小室 晶 | 常務理事 相澤 晴夫 |
| 専務理事 岡部 安寿 | 常務理事 鎌田 富士夫 |
| 常務理事 長塚 威 | 外役職員 一同 |

事務局/〒310-0852 水戸市笠原町978-30(建築会館二階)
TEL 029-305-7771 FAX 029-305-7791

茨城県建築センター

会長 柴 和伸 理事長 足立 信幸

本部事務所 千310-0852 水戸市笠原町 978-30 県南事務所 千300-2655 つくば市島名 2920 県西事務所 千308-0125 古河市仁連 1921-4
TEL 029-305-7300 内 (万博公園西 F 230 街区 6) TEL 0280-75-2600 内
FAX 029-305-7310 TEL 029-886-3211 内 FAX 0280-75-2603
FAX 029-886-3212

ホームページアドレス <https://www.ibakenju.or.jp/>

私たちは地域の安全・安心を守る
「地域の守り手」としての役割を担います

- 一般社団法人 茨城県建設業協会
- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 会長 石津 健光 | 副会長 細谷 武史 | 副会長 新井 孝 |
| 副会長 秋山 光伯 | 副会長 田口 恵一郎 | |
| 副会長 小林 伸行 | 副会長 梅原 基弘 | 副会長 一弘 |
- 水戸市大町3丁目1番22号 TEL 029-221-5126 内
http://www.ibaken.or.jp